

# 令和8年度病害虫発生予察指導情報

ナシ黒星病：胞子飛散情報（No. 9）

令和8年5月1日  
鳥取県病害虫防除所

表1 日別胞子採集状況（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位：個

月・日	子嚢胞子 (落葉由来) (個)	分生子 (果叢由来) (個)	‘新甘泉’の 生育(作業) ステージ	月・日	子嚢胞子 (落葉由来) (個)	分生子 (果叢由来) (個)	‘新甘泉’の 生育(作業) ステージ
3/16	0	-		4/26		3.8	
3/17	0			4/27	83	-	
3/18	5	0		4/28	73	-	
3/19		-		4/29		-	
3/20	1	-		4/30	571	528.8	
3/21		-		5/1			
3/22	0	0		5/2			
3/23	0	-	発芽期	5/3			
3/24	0	-		5/4			
3/25	34	0		5/5			
3/26	0	-	花蕾露出期	5/6			
3/27		-		5/7			
3/28	0	-		5/8			
3/29		-		5/9			
3/30	978	15.0	鱗片脱落期	5/10			
3/31	1156	0.8		5/11			
4/1	142	2.5		5/12			
4/2	2	-		5/13			
4/3		-		5/14			
4/4	131	1.5	展葉期～バルーン期	5/15			
4/5		-	開花始め	5/16			
4/6	124	-		5/17			
4/7	1673	1.3		5/18			
4/8	13	-		5/19			
4/9	5446	5.8		5/20			
4/10	197	-	満開	5/21			
4/11		-		5/22			
4/12	24	-		5/23			
4/13	1	-		5/24			
4/14		-		5/25			
4/15	9874	4.5		5/26			
4/16	18	-	落花期	5/27			
4/17		-		5/28			
4/18	241	-		5/29			
4/19		-		5/30			
4/20	854	47.5		5/31			
4/21		-					
4/22	6	-	摘果期				
4/23	1934	0					
4/24		-					
4/25	7	-					

注) ーは無降水のため調査未実施、生育（作業）ステージは遠観による調査。

表2 半月別胞子採集状況（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位：個

月・旬	子嚢胞子			分生子			月・旬	子嚢胞子			分生子		
	本年	前年	平年 (H28~R7)	本年	前年	平年 (H28~R7)		本年	前年	平年 (H28~R7)	本年	前年	平年 (H28~R7)
3・4	6	0	0	0	3.3	0.7	4・6	727	8	10.2	532.6	5.8	21.2
3・5	34	0	3.8	0	0.3	2.0	5・1		11	1.9		18.0	17.0
3・6	2134	0	14.0	15.8	1.6	3.6	5・2		3	0.7		28.2	21.2
4・1	275	1	24.0	4.0	0	7.7	5・3		0	0.1		0	11.9
4・2	7453	12	12.1	7.1	0.6	9.3	5・4		3	0.3		128.9	35.4
4・3	9899	126	53.0	4.5	0.3	6.9	5・5		1	0.1		6675.8	840.4
4・4	1113	57	9.9	47.5	1.3	5.7	5・6		0	0		130.0	35.0
4・5	1947	334	72.3	0	18.9	44.4							

注) 平年値は調査期間のうち、6年以上の値から算出。

＜情報の内容＞ 4月第6半旬調査結果

- ・ 病落葉からの子嚢胞子の飛散量は、平年に比べて多かった。
- ・ 果叢基部からの分生子の飛散量は、平年に比べて多かった。

＜参考＞

- ・ 発生量の記載  
発生量の多少は中央値（median）の考え方を基に決定しており、発生の実態に即している。そのため、本年値と平年値の関係が発生量の記載と一致しない場合がある。
- ・ 子の胞子採集方法  
病落葉（前年採集）の上に設置した胞子採集機内にグリセリンゼリーを塗布したスライドガラスを静置（24～72時間）し、スライドガラスに付着した胞子数を調査した。表の値は罹病落葉100葉あたりの子嚢胞子数。
- ・ 分生子採集方法  
雨滴法（漏斗を罹病した腋花芽の下に設置）により雨滴中の胞子数を降雨日ごとに調査した。表の値は4花叢調査の平均値。